

---

蠅

rutu

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

蠅

### 【コード】

N9611E

### 【作者名】

rutu

### 【あらすじ】

暗い闇の底で生まれた蠅はどこへいくか？

土と水と血の臭い。

夜の闇に紛れて水滴が一つ。

まだ、生えてまもない若葉を濡らして。

私はうごめく。

私は醜い。こんな私の運命を。

呪う。

私は蛆。幾千、幾万のなかの一匹。

私はそろそろ羽ばたくだろう、憎しみを含んだ黒につつまれて。

私は彼女の死体を食べてきたからだ。

彼女は悪い男に騙され、殺され、ここに棄てられた。

ああかわいそうな彼女。

わたしが仇をとってあげる。

その男は次から次へと女をつくった。だが彼女達は死んでいく。深く、深く愛しあったばかりに、それに比例し残酷な死に方で。

可哀相な彼女達。その男と付き合ったばかりに。

男に疑惑の目が向いていた。

男は否定を続ける。

いいや、あなたが悪いの絶対にあなたが、私はすべてみていたんだから、あなたがわるいの。

そして、犯人が捕まった。

犯人を見て、男は発狂し、死んだ。

蠅は縦横無尽に夜空をふるわす。復讐の風に体を任せて。深い闇に包まれた森には女の体はなくなっていた。赤い血は黒く変色し黒くなり。ぼつぼつ、街に向かって消えていた。

ブーン。ブーン。

あなたはわたしのものわたしだけのもの。

わたしは死なないわ。あなたは私を殺せるわけがないのよ。

ブーン。ブーン。バチッ。

そしてまた、どこかの深い闇の底で、また一匹の悲しい、黒蠅がめをさました。

「あの女」

蠅はオスだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9611e/>

---

蠅

2010年10月11日11時27分発行